

松前の 防災力

危機管理係 ☎ 985-4103

自助・共助で取り組む

わが家の災害対策講座 ～第7回～

vol. 15

非常持ち出し品を備えよう

●非常持ち出し品とは？

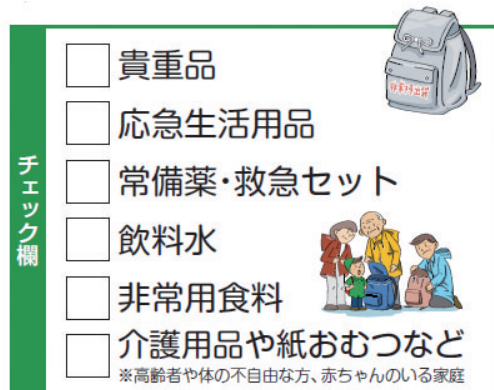
非常持ち出し品は、リュックサックに入る程度の大きさで、被災したときに避難所で1日をしのぐために用意するものです。

災害時に避難所に逃げた後、家に生活必需品を取りに行こうと思っている人がたくさんいます。しかし、余震などの危険があるため、1日程度は命が安全な場所に避難しておく必要があり、すぐに家に帰ることはできません。

玄関や寝室など持ち出しやすいところに準備しておき、すぐに持ち出せるようにしましょう。

●どんなものが必要？

右のリストを使って、用意できたものからチェックしていきましょう。



応急生活用品には現金（公衆電話使用のため特に10円玉）、ラジオ・ナイフやはさみ・缶切りなどが付いている複合ツールなどを入れておきましょう。また笛を入れておくと、家に閉じ込められたときや避難途中に人を呼ばないといけないときに役立ちます。

Topics

南海トラフ巨大地震の被害想定

～松前町の死者 258 人～

平成25年12月26日、県は地震被害想定調査（最終報告）を発表。県内の人的被害、建物被害、ライフライン被害などが数値化されました。松前町では死者258人、全壊建物3,055棟、避難所避難者（1日後）11,783人など非常に大きな被害が発生すると予想されています。

しかし、あくまでこの数値は「最悪の場合」を想定したものであり、減災対策をしていない場合です。自助・共助・公助で取り組む減災対策をすれば、死者数は5分の1、建物被害は10分の1、避難所避難者数は4分の3に減少すると予想されています。

大事なのは「減災対策をすること」。予想数値に惑わされるのではなく、町民一人一人が精いっぱい減災対策をして災害に備えましょう。

災害時応援協定締結

～町を優先的に応援～

25年12月に下記の3協定を締結しました。

▶災害時の物資に関する協定

釣り具のフレンド松前店と締結。災害時にボートやライフジャケットなどの救助資器材を町に優先的に供給してもらえるようになりました。

▶災害時の復旧に関する協定

四国電力と締結。災害時に町の災害対応拠点となる庁舎電力を優先的に復旧してもらえるようになりました。

▶災害時における電気資機材等の配備についての協定

伊予電気工事協同組合・愛媛県電気工事工業組合と締結。災害時、指定避難所への発電機や投光機の配備、避難所の電気設備の応急点検をしてもらえるようになりました。